

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月10日

岩手県知事 達増拓也 殿

提出者

住 所 岩手県二戸郡一戸町一戸字本町115

氏 名 株式会社 東野組

代表取締役 東野 浩一郎

電話番号 0195-33-2627

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 東野組
事業場の所在地	岩手県二戸郡一戸町一戸字本町115
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	一般土木建築工事業
②事業の規模	元請完工高 1.5億円
③従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	図1のとおり

(日本工業規格 A列4番)13



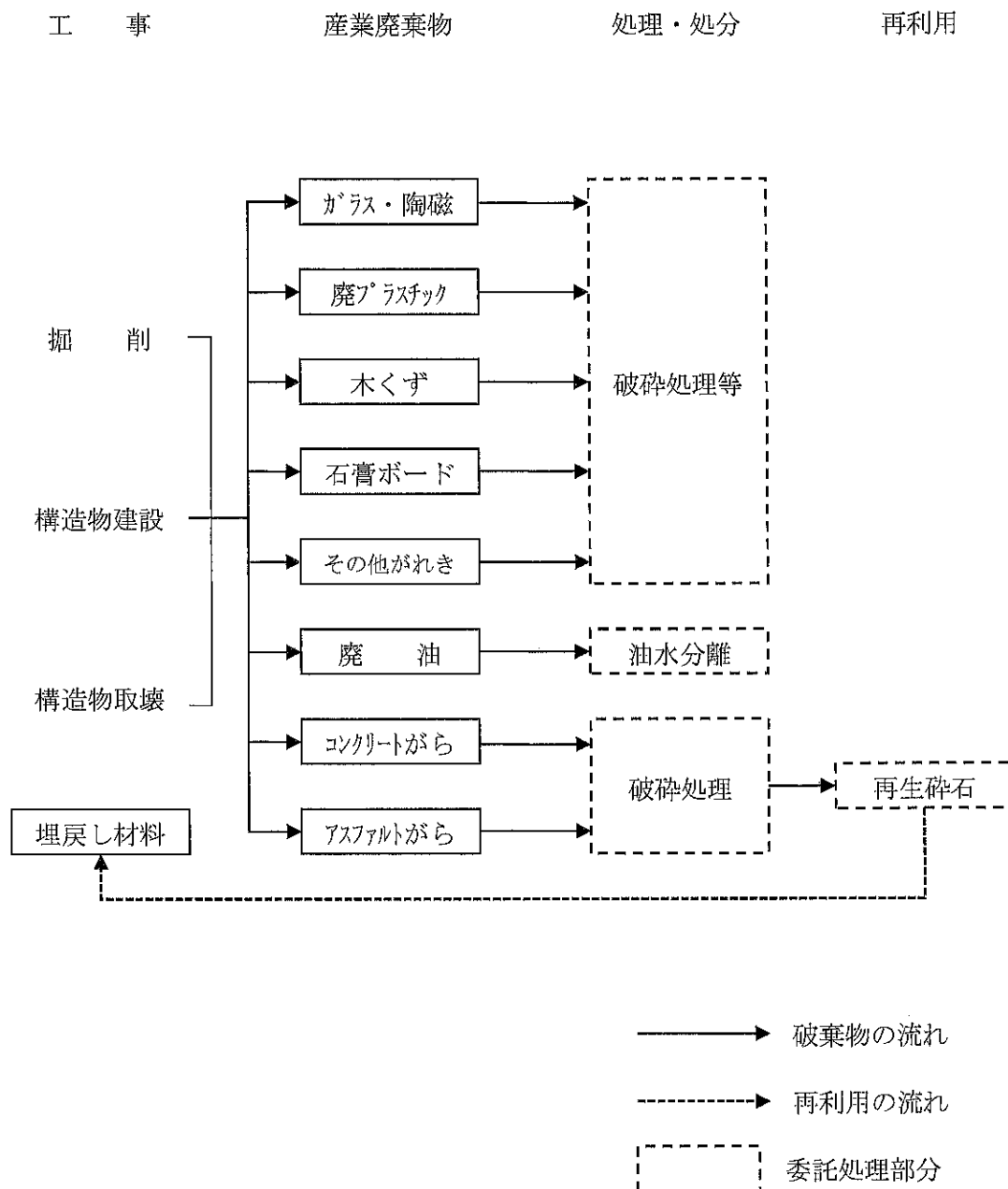


図 1 産業廃棄物の一連の処理の工程

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物統括責任者（代表取締役）

産業廃棄物管理責任者（土木・建築・設備部長）

産業廃棄物担当者（現場代理人）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和5年度）実績】別紙2のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】別紙2のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

t

t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
工事現場ごとに、コンクリートがら・アスコンがら・その他がれき・ガラス陶磁器くず・
廃プラスチック類・金属くず・木くず・廃石膏ボード等に分別し、自社運搬または
収集運搬業者により処分業者に運搬し、委託処分している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
現状のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器
	排 出 量	480.63 t	242.19 t	27.98 t	6.02 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	混合	紙くず	木くず
	排 出 量	2.98 t	1.0 t	2.7 t	270.04 t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	石膏ボード		
	排 出 量	1.91 t	4.08 t		
	<p>（これまでに実施した取組）</p> <p>小学校解体及び民間住宅解体工事の受注があったため、主にコンクリートがら・アスコンがら・木くずを大量に排出した。</p> <p>当社は工事により排出される産業廃棄物は全て委託業者により処分している。そのうち、コンクリートがら・アスファルトがらについては、処分業者により破砕処理され再生砕石となり、埋め戻し材料として再利用している。</p>				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき	ガラス・陶磁器
	排 出 量	100 t	200 t	10 t	10 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	木くず	その他	
	排 出 量	5 t	100 t	15 t	
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <p>今年度は大規模な解体工事の受注見込みが無いいため、前年度に比べ産業廃棄物を大幅に削減できる。</p> <p>産業廃棄物に関しては適正に分別し、処分業者に処理を委託する。</p>				

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

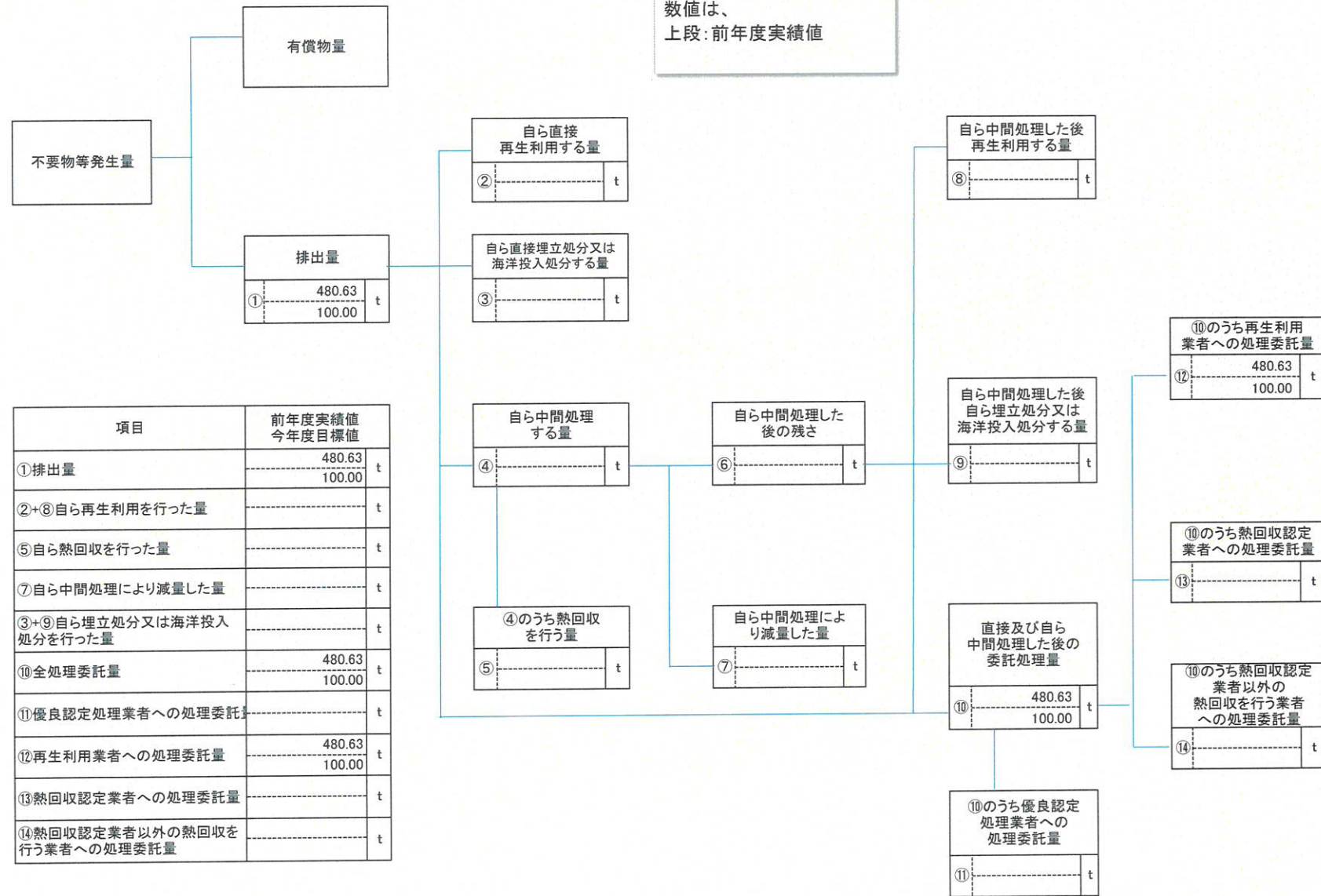
別紙 3

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき ガラス・陶磁器 廃プラスチック 混合 紙くず きくず 繊維くず 石膏ボード
	全処理委託量	480.63 t	242.19 t	316.71 t
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再利用業者への 処理委託量	480.63 t	242.19 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
	（これまでに実施した取組） 発生した産業廃棄物は全量処理業者に委託している。 コンクリートがら・アスファルトがらについては、委託業者により破砕処理され再生砕石となり、埋め戻し材料として再利用している。			
	【目標】			
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他廃棄物
②計画	全処理委託量	100 t	200 t	140 t
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再利用業者への 処理委託量	100 t	200 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量			
	（今後実施する予定の取組） 廃棄物は適正に分別し、委託業者に処理を委託する。			

(産業廃棄物の種類: **コンクリートがら**)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: **アスコン**から)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

項目	前年度実績値	今年度目標値
① 排出量	242.19	200.00
②+⑧ 自ら再生利用を行った量		
⑤ 自ら熱回収を行った量		
⑦ 自ら中間処理により減量した量		
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩ 全処理委託量	242.19	200.00
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量		
⑫ 再生利用業者への処理委託量	242.19	200.00
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量		
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接
再生利用する量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

自ら中間処理
する量

④のうち熱回収
を行う量

自ら中間処理した
後の残さ

自ら中間処理によ
り減量した量

自ら中間処理した後
再生利用する量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

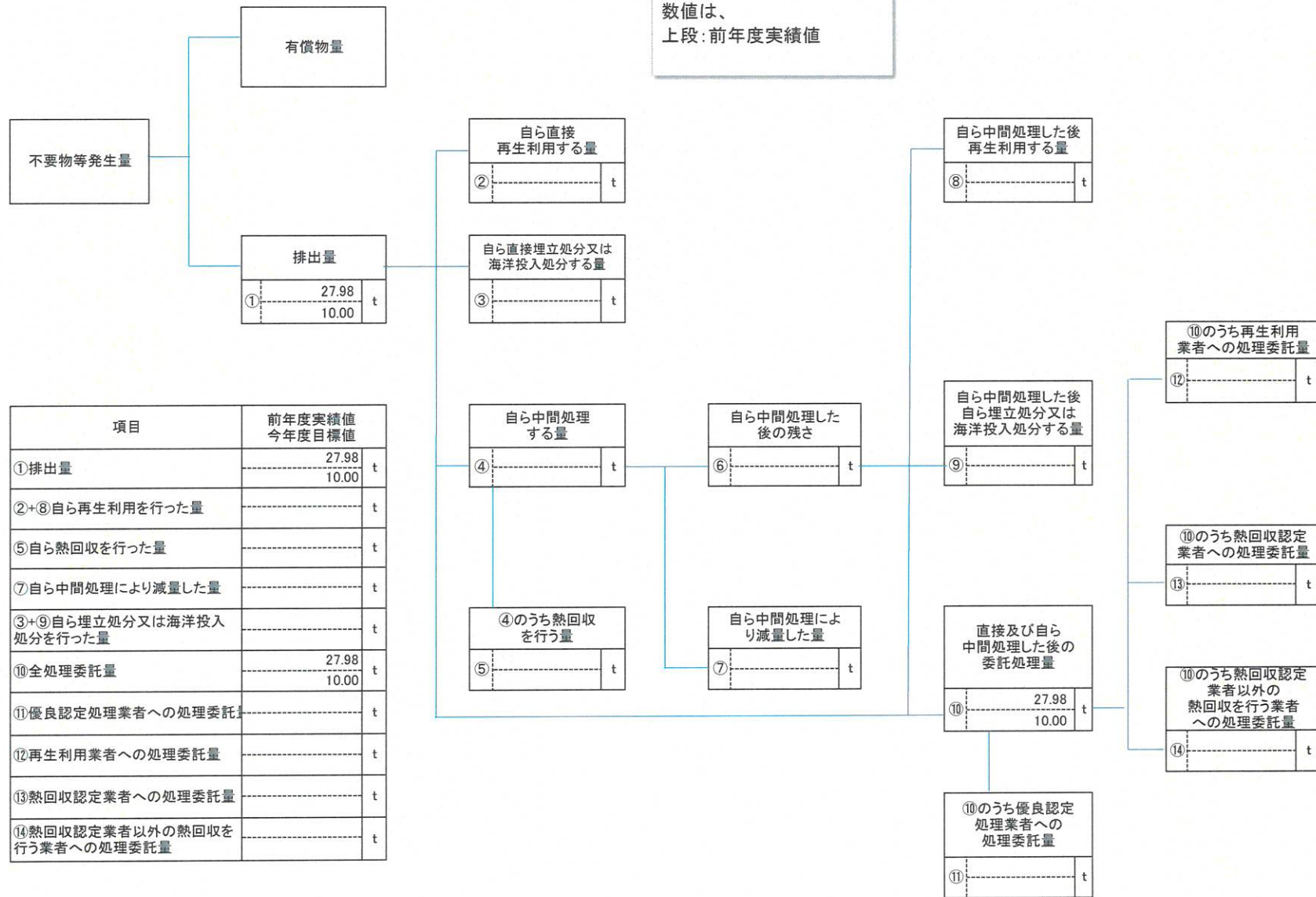
⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

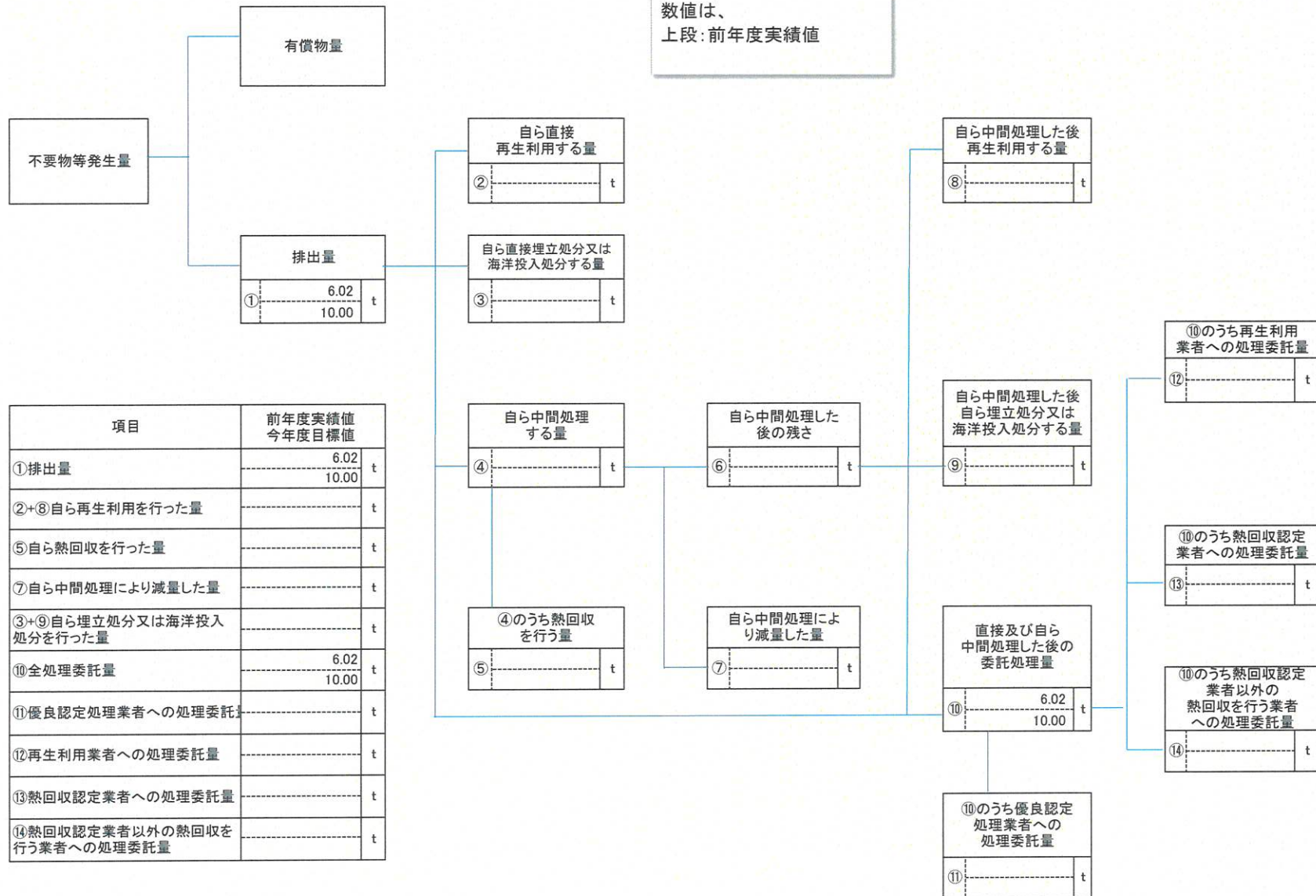
(産業廃棄物の種類: **その他がれき**)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



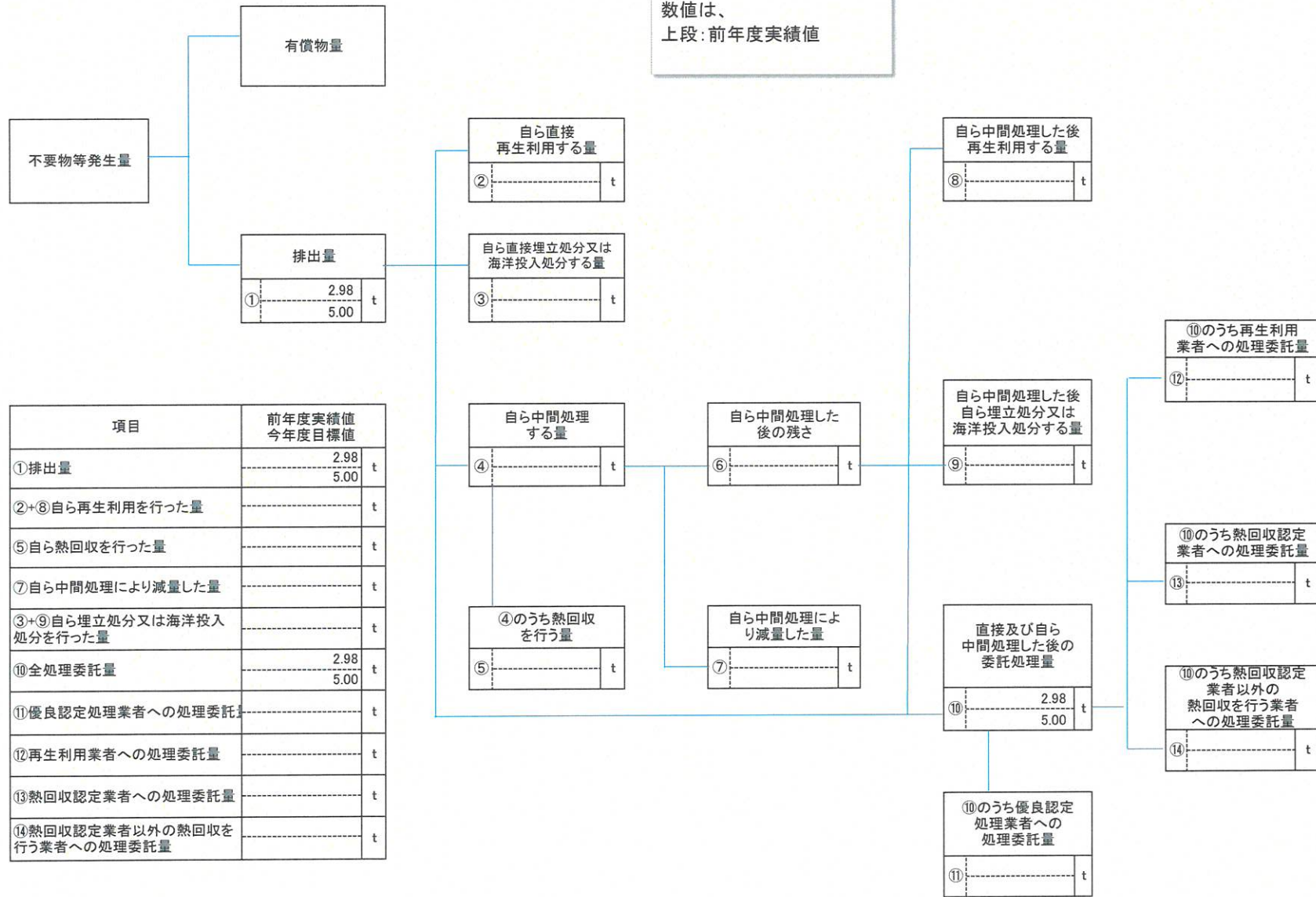
(産業廃棄物の種類: **ガラス・陶磁器**)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、
上段: 前年度実績値

不要物等発生量

有償物量

排出量

項目	前年度実績値	今年度目標値
① 排出量	270.04	100.00
②+⑧ 自ら再生利用を行った量		
⑤ 自ら熱回収を行った量		
⑦ 自ら中間処理により減量した量		
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩ 全処理委託量	270.04	100.00
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量		
⑫ 再生利用業者への処理委託量		
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量		
⑭ 熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

(産業廃棄物の種類: 混合・紙くず・繊維くず・石膏ボード)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

①	9.69	t
	15.00	t

自ら直接
再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧		t
---	--	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨		t
---	--	---

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭		t
---	--	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	9.69 15.00	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量		t
⑩全処理委託量	9.69 15.00	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量		t

自ら中間処理
する量

④		t
---	--	---

自ら中間処理した
後の残さ

⑥		t
---	--	---

④のうち熱回収
を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦		t
---	--	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	9.69 15.00	t
---	---------------	---

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪		t
---	--	---